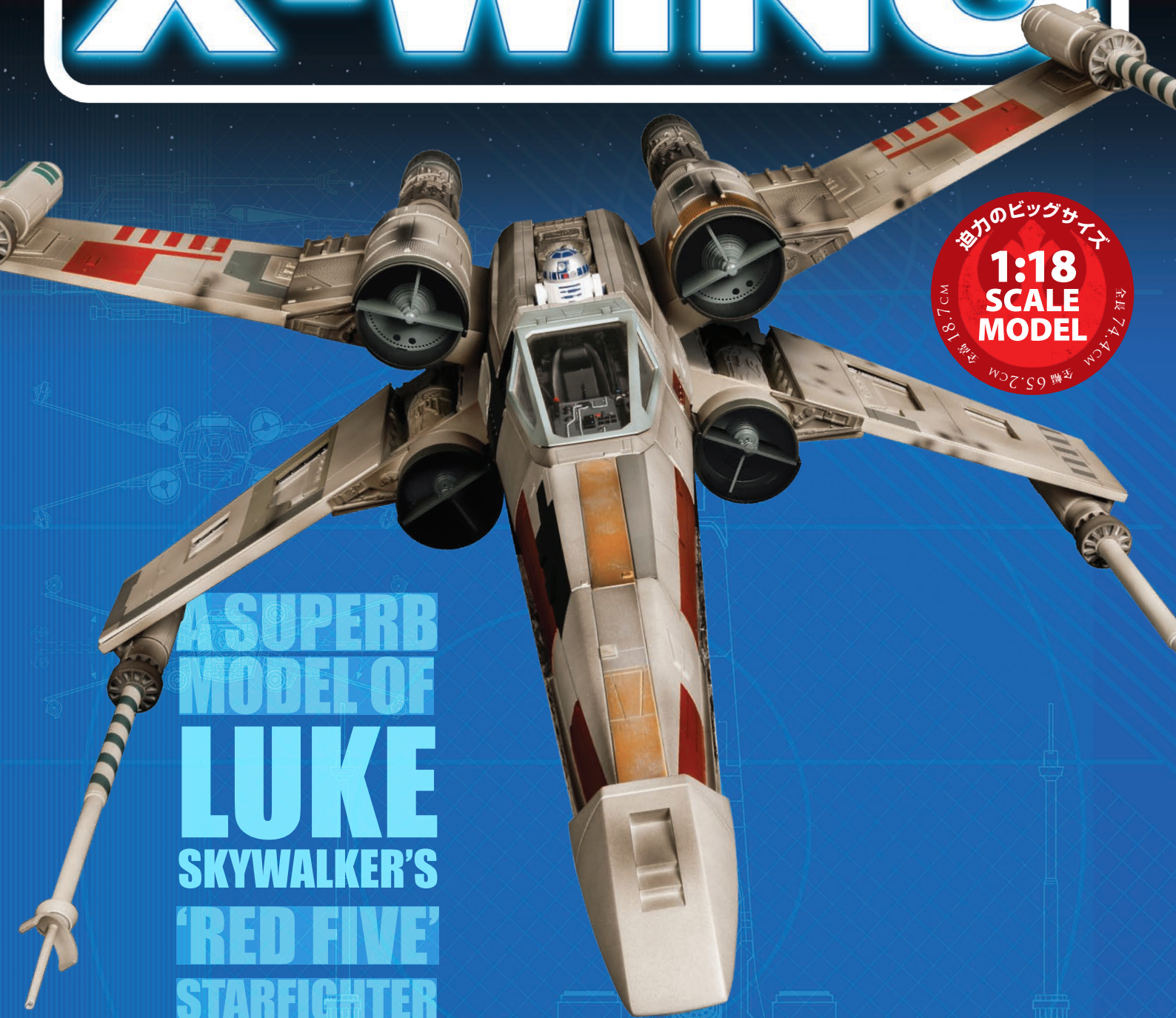


STAR WARS™

4

BUILD YOUR OWN

X-WING



迫力のビッグサイズ
1:18
SCALE
MODEL
全長 74.4cm
全幅 65.2cm
高さ 18.7cm

A SUPERB
MODEL OF
LUKE
SKYWALKER'S
'RED FIVE'
STARFIGHTER



DEAGOSTINI

第4回配本 組立内容

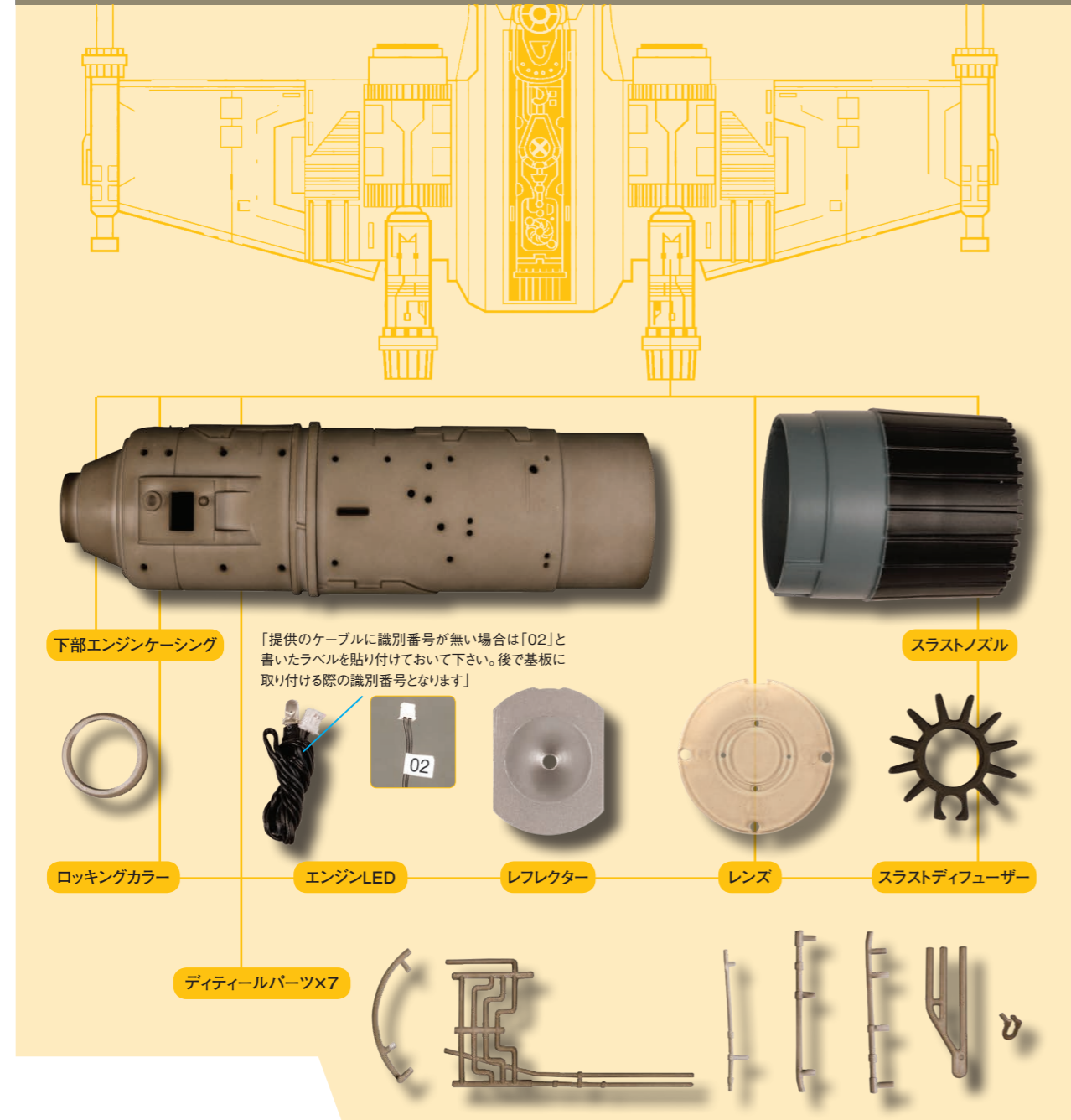
STAGE 13	右舷上翼エンジン4	60
STAGE 14	右舷上翼のエンジンマウント	68
STAGE 15	右舷上翼エンジン5	74
STAGE 16	右舷上翼エンジン6	80

右舷上翼エンジン 4

このステージでは、X ウィングの 4 つあるサブライトエンジンのうち、最初のエンジンの後部を完成させるために必要なパーツを提供する。さらに外部ケーシング及びスラストノズルに加えて、エンジンの内部照明効果を実現する LED と光学部品を組み立てる。

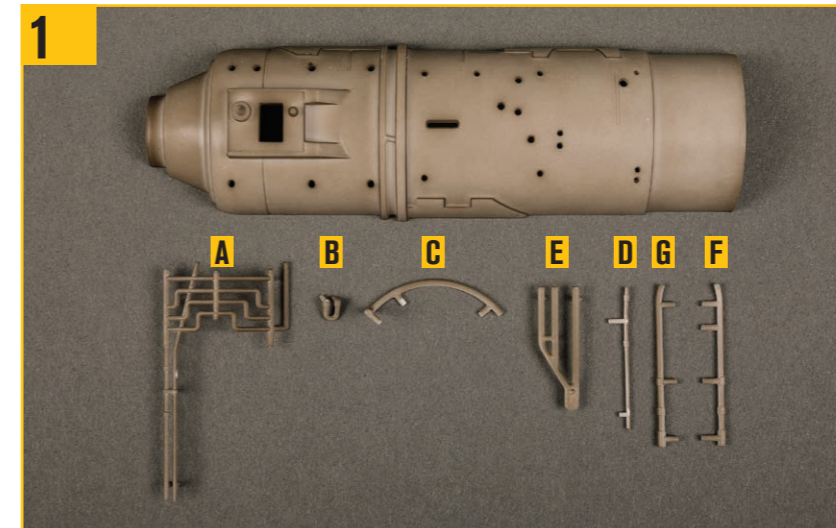
ステージ13の提供パーツ

部品が揃っているかを確認し、それぞれがXウィングのどの部分を構成するのか見てみよう。



ケーシングの仕上げ

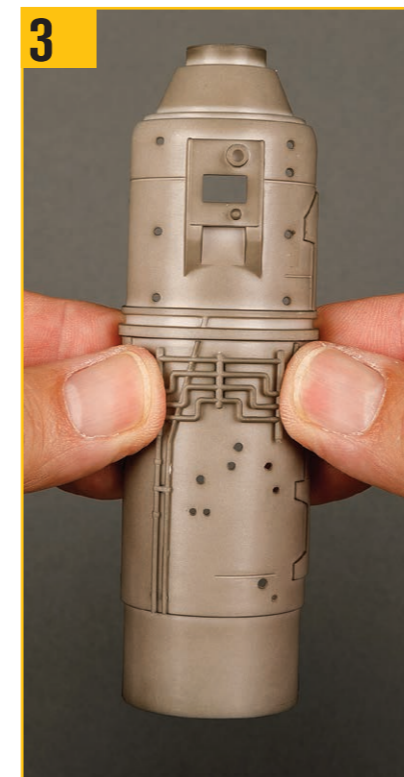
ステージ 11 と同様に、エンジンケーシングの外側は、ディテールパーツで覆われる。今回は、内部の部品を取り付ける前にそれらを取り付ける。



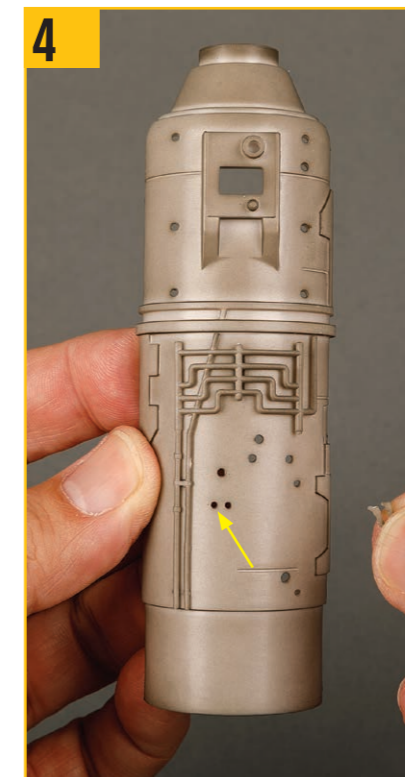
7つのディテールパーツを用意し、62ページの写真を参照し下部エンジンケーシングのどこに収まるかを確認する。



下部エンジンケーシングの写真に示したスロットに一致する長いタブがあるパーツAを用意する。



パーツAを写真の位置に押し込み、小さなピンが対応する穴に入ることを確認して取り付ける。



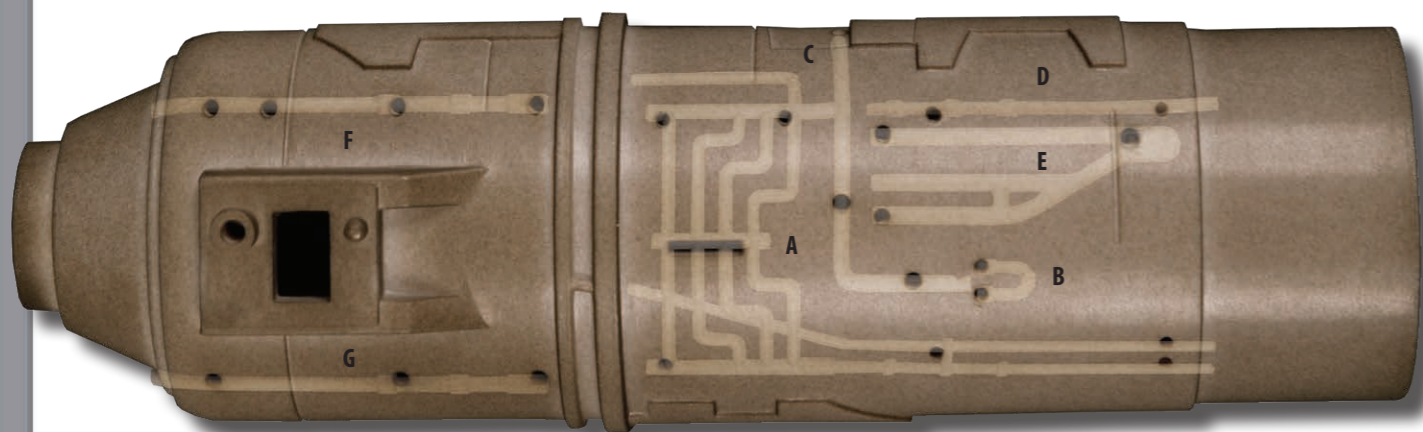
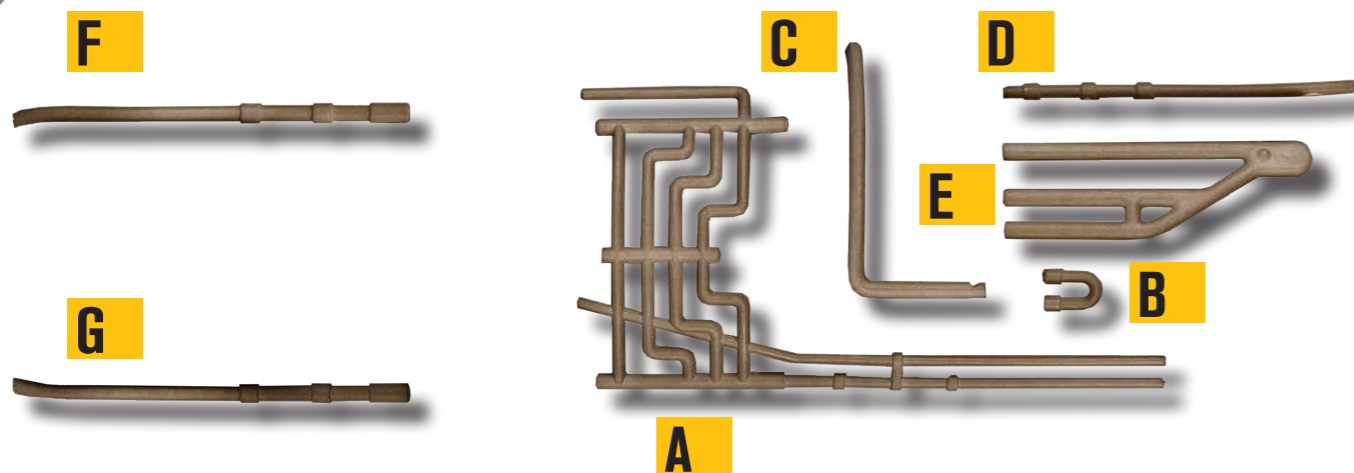
写真の下部エンジンケーシングの穴に収まる2つのピンのあるパーツBを用意する。



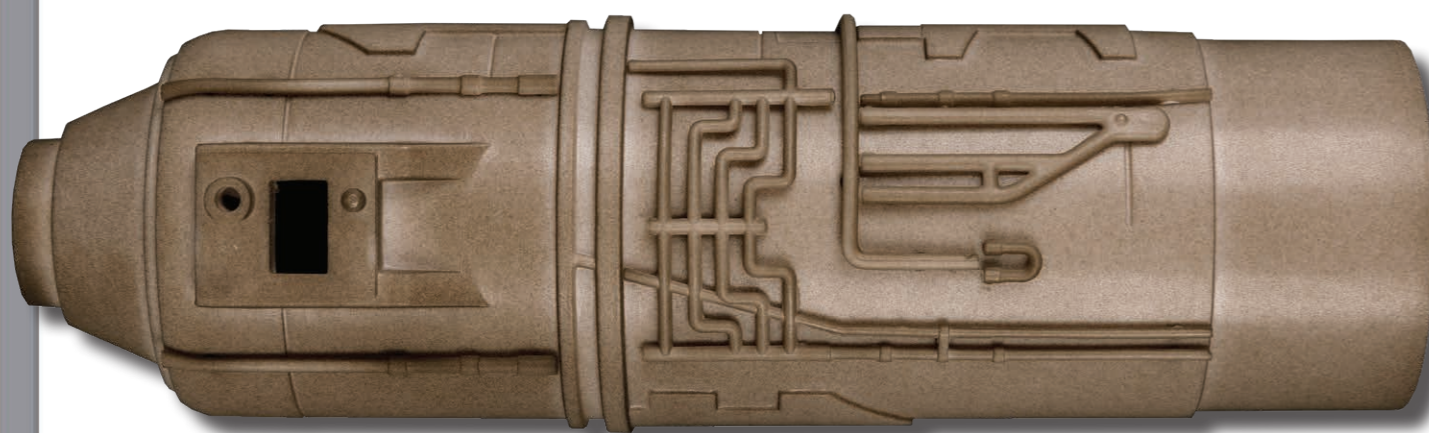
パーツBを写真の位置に押し込み、取り付ける。以下同様に62ページの写真を参照しながらパーツC～Gを取り付ける。

エンジンの組み立て

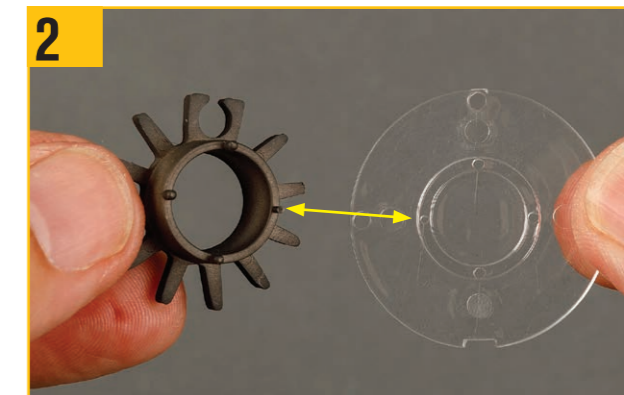
これで、エンジンを発光させる照明システムを組み立て、ステージ 11 および 12 のすべての内部部品を組み立てることができる。



エンジンケーシングの写真で薄く示した部分には、上記の各ディテールパーツが適合する穴とスロットがある。



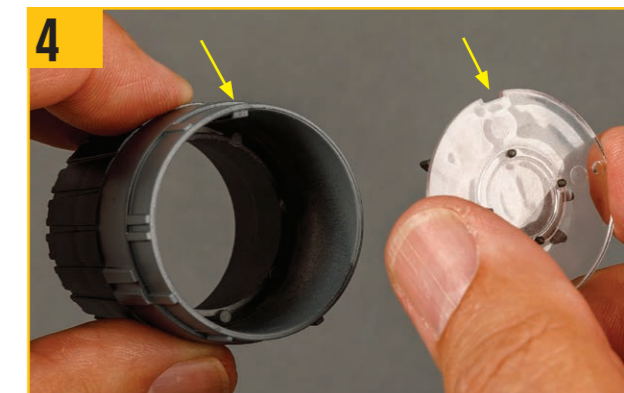
今回提供されたすべての部品と、ステージ11および12から部品を用意する。



スラストデフューザーの4つのピンを写真のようにレンズの穴に取り付ける。位置決めのため1本のピンは他のピンよりも小さいので、それを確認して取り付ける。



写真のようにぴったり合わせるよう部品をしっかりと押し込む。



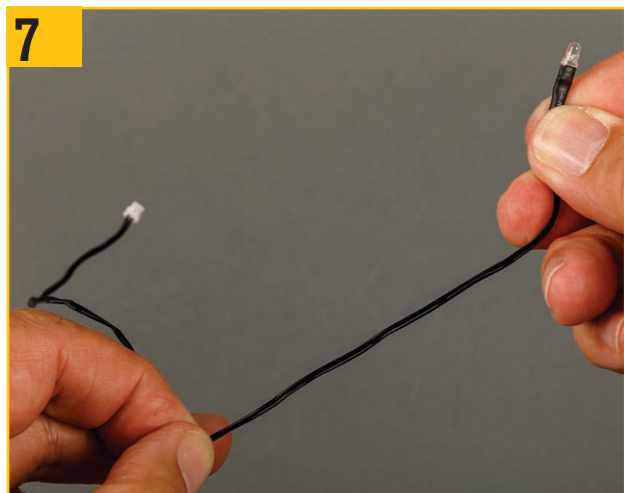
写真のように、レンズのノッチをスラストノズルの内部リブに合わせる。



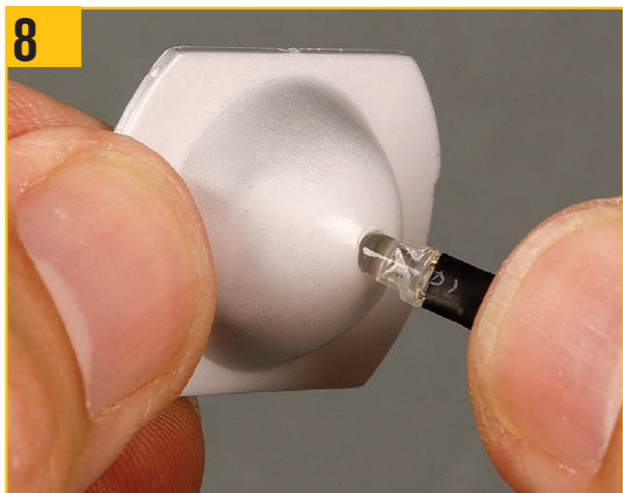
レンズを所定の位置に取り付ける。



レンズをしっかりと押し込む。



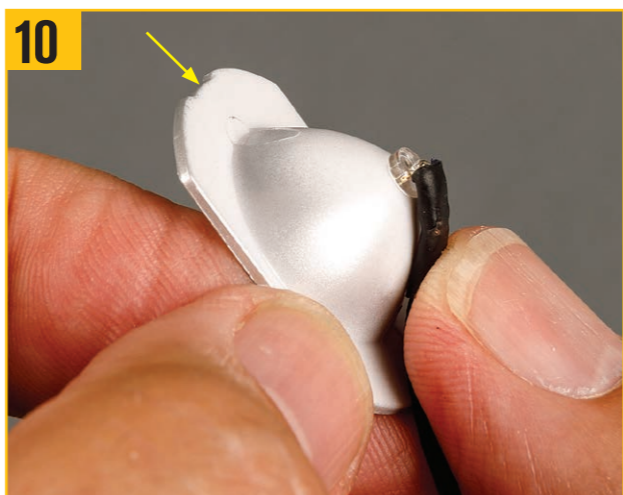
7 エンジンLEDを用意する。



8 LEDの先端をリフレクターの穴に取り付ける。



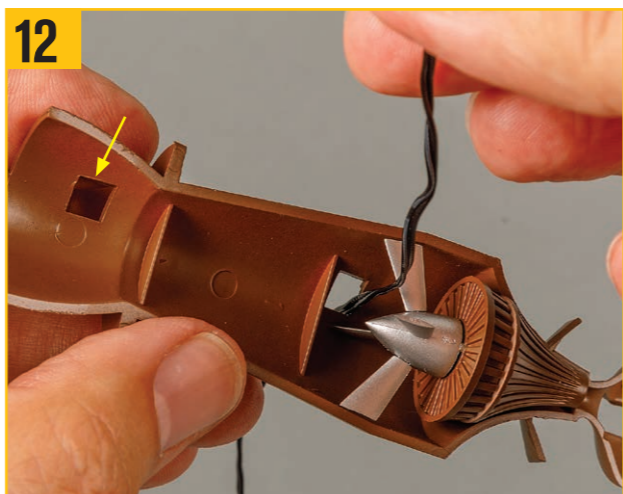
9 LEDの先端が反対側に出るようにする。



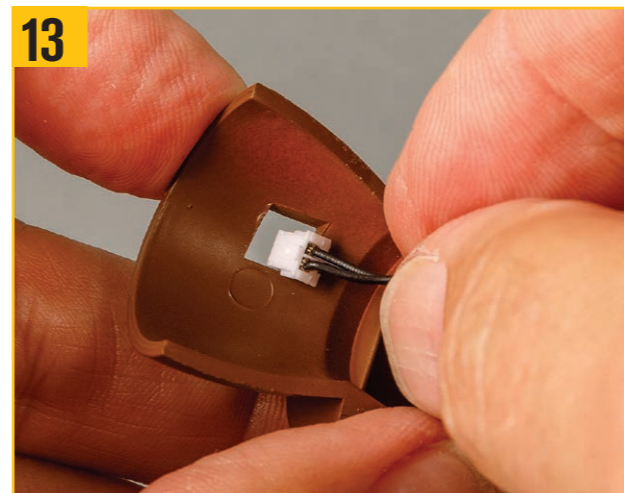
10 矢印の付いたノッチの反対側のリフレクターの曲線に沿って、ワイヤーを慎重に曲げる。



11 ステージ12で提供の核分裂チャンバーの穴にプラグを差し込む。



12 矢印で示されているもう一つの別の穴に向かってリード線を引っ張る。



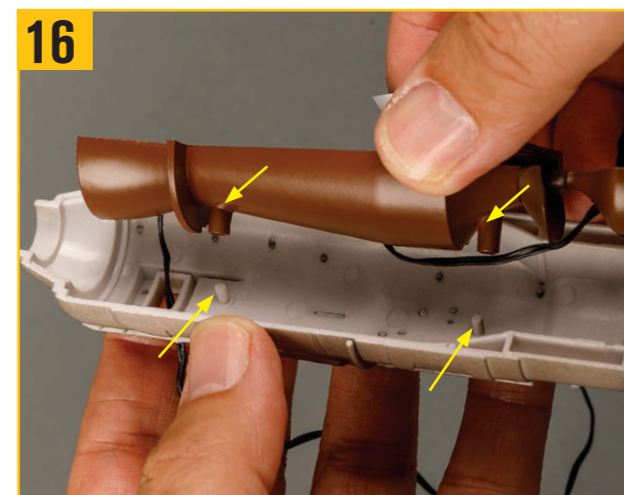
13 穴にプラグを差し込む。



14 リフレクターがこの写真の位置にくるまでワイヤーを通す。



15 エンジンケーシングの穴にプラグを通す。



16 ワイヤーを挟まないように注意しながら、核分裂チャンバーの2つの取り付け用突起部をケーシングのピンと合せる。



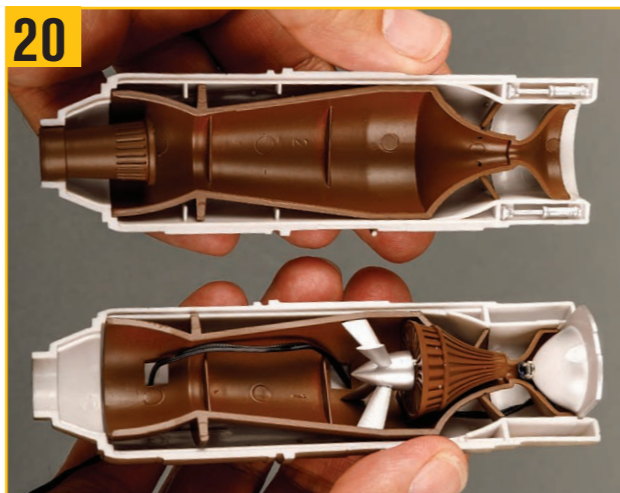
17 核分裂チャンバーを写真の位置に押し込む。



18 リフレクターの湾曲した端をケーシングの写真に示すスロットに取り付ける。矢印の付いたノッチのある端が上部にくる事を確認する。



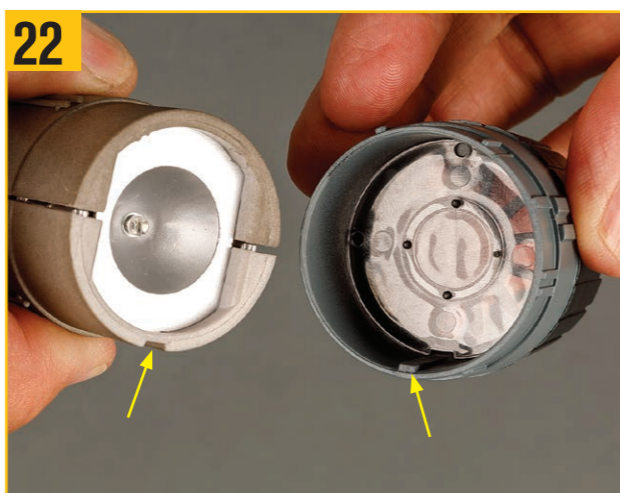
19 そしてリフレクターをしっかりと押し込む。



20 エンジンの両半分を写真のように並べる。



21 そして、リフレクターがエンジンケーシングのスロットに確実に収まるようにする。



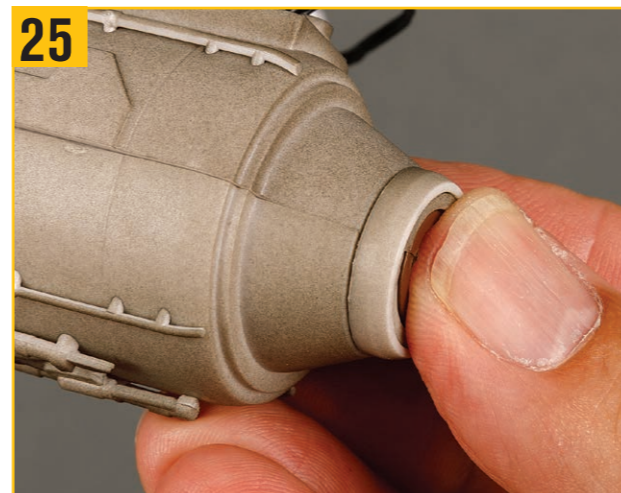
22 スラストノズルをエンジン部品に合わせて、矢印の付いたノッチとリブが揃うようにする。



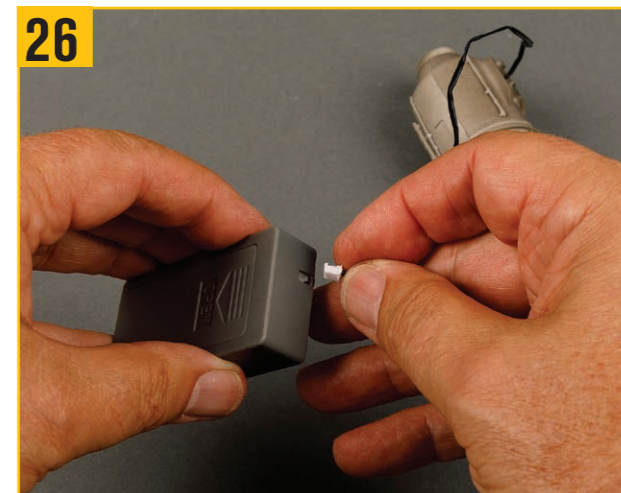
23 写真のようにスラストノズルをエンジンに完全に押し込みむ。



24 エンジンのもう一方の端にロックカラーを先の細い方が先端になるように取り付ける。



25 ロッキングカラーをしっかりと押し込む。



26 R2-D2のテストに使用したバッテリーボックスを用意し、エンジンLED からリード線を差し込む。「提供のケーブルに識別番号が無い場合は「02」と書いたラベルを貼り付けておいて下さい。後で基板に取り付ける際の識別番号となります」



27 内部LEDが点灯し、ディフューザーが写真のように赤く光る事を確認する。



本ステージの完成：エンジンLEDをバッテリーボックスに接続したままにしないでください。

右舷上翼のエンジンマウント

このステージのパーツには、右舷上翼用の2つの追加フレームに加えて、翼の付け根の下側のカバーが含まれている。また、レーザーキャノンに動力を供給するために使用するケーブルに加えて、パネルの外部穴を隠すための4種類のネジと3つのプラグがある。

ステージ14の提供パーツ

部品が揃っているかを確認し、それぞれがXウイングのどの部分を構成するのか見てみよう。

インナーウイングフレーム

エンジンマウントブレース

ウイングルートカバー

カバープラグ×3(スプルー付き)

レーザーキャノンケーブル*

「提供のケーブルに識別番号が無い場合は「01」と書いたラベルを貼り付けておいて下さい。後で基板に取り付ける際の識別番号となります」

01

XW02ネジ(×10)

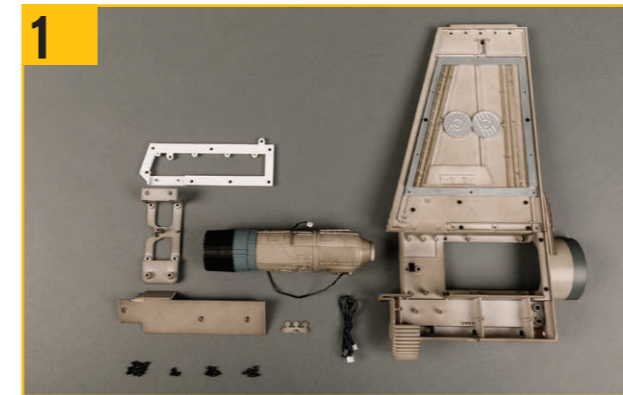
XW03ネジ(×3)

XW04ネジ(×6)

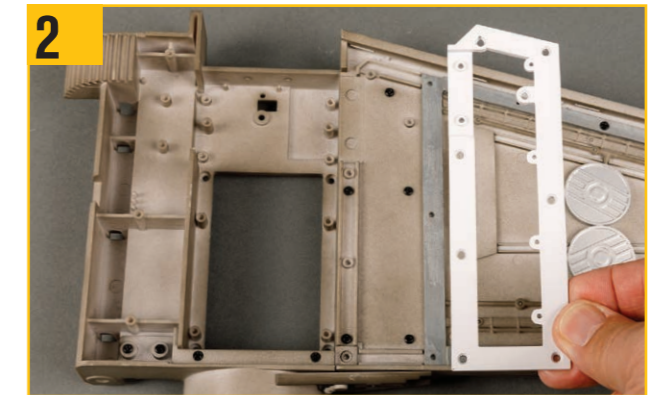
XW05ネジ(×5)

翼の組み立て

翼を強化する2つの追加フレームを取り付け、ステージ13のサブライトエンジンと翼端レーザーキャノンの配線を用意する。



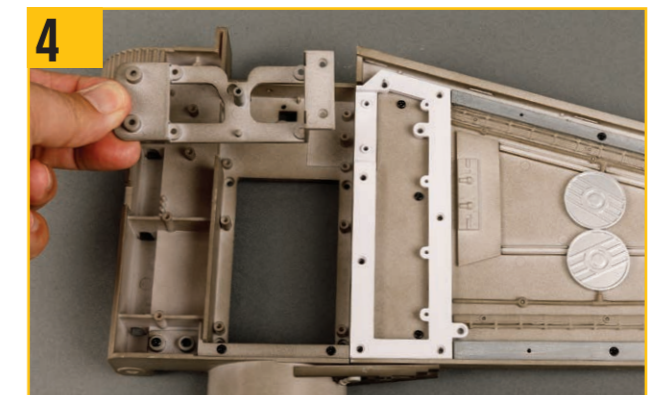
今回提供されるすべての部品と、ステージ13で作成したサブライトエンジンを用意する。



インナーウイングフレームを写真のように持つ。



写真のように外側のウイングフレームとインナーウイングフレームの位置を合わせる。



エンジンマウントブレースを写真のように持つ。



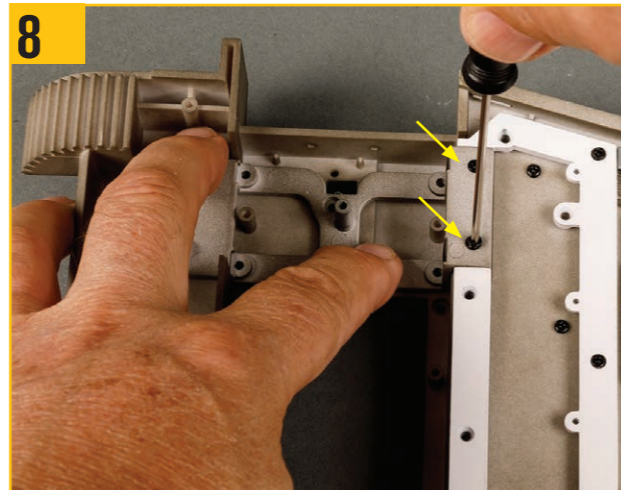
エンジンマウントの凹部に取り付け、外側の端がインナーウイングフレームの上にくるようにする。



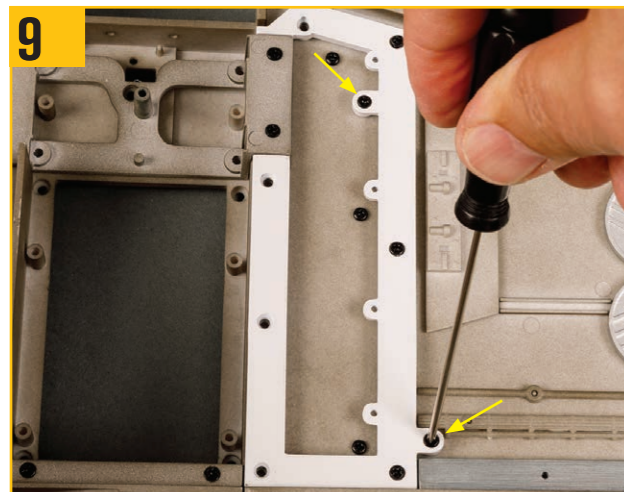
XW04ネジでインナーウイングフレームを固定する。



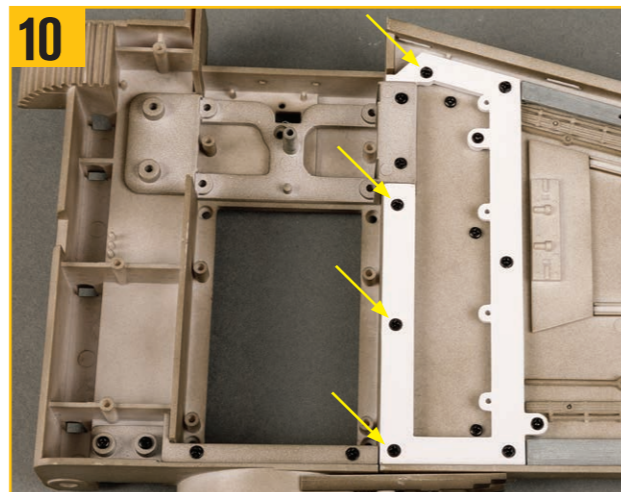
その後、矢印の穴をXW04ネジでねじ止める。



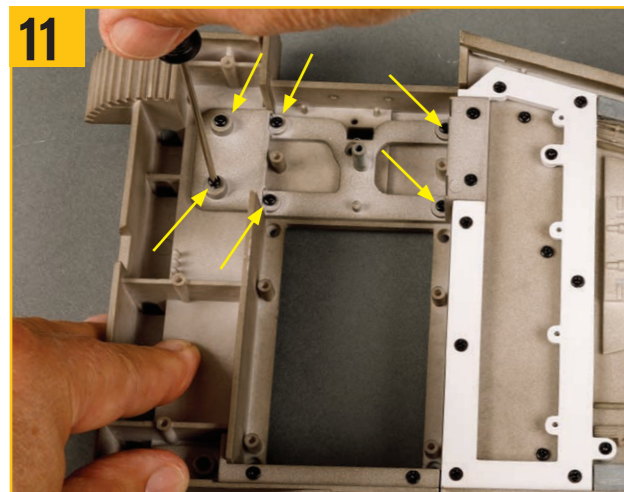
エンジンマウントプレースの矢印の穴を2つのXW04ネジでねじ止める。



2つのXW03ネジで矢印の2つの穴をねじ止める。



4つのXW05ネジで写真の4つの穴をねじ止める。



矢印の6つの穴をXW02ネジで締めて、エンジンマウントプレースを固定する。



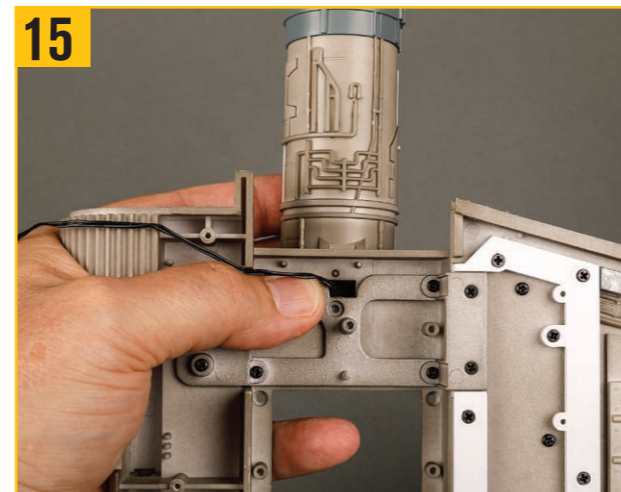
翼を裏返し、サブライトエンジンを用意する。



エンジンLEDのリード線をエンジンマウントの写真の穴に通す。



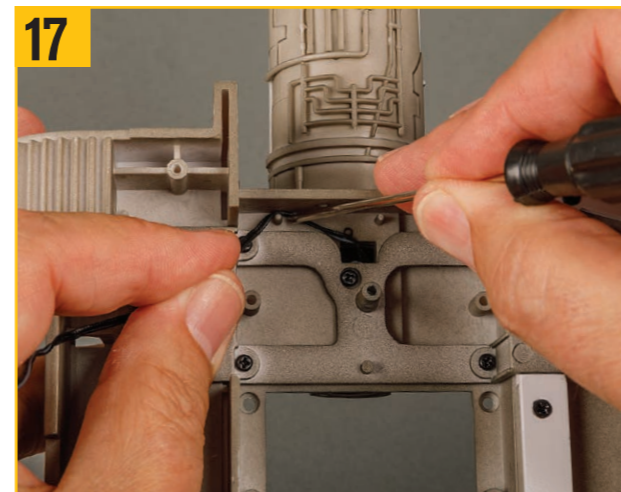
サブライトエンジンのピンと固定ラグをエンジンマウントの対応する穴に合わせる。



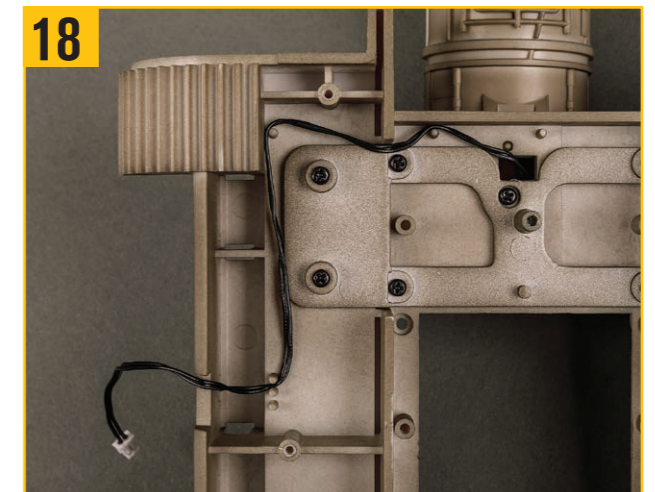
サブライトエンジンを写真の位置に保持し、翼を裏返す。



XW02ネジを固定ラグの穴に差し込み、サブライトエンジンを写真の位置にねじ止める。



ドライバーの先端を使用して、エンジンマウントに成形されたポストの周りにリード線を配線する。



翼の付け根にある3つのポストのうち写真のように2つのポストの経路をたどるようにする。



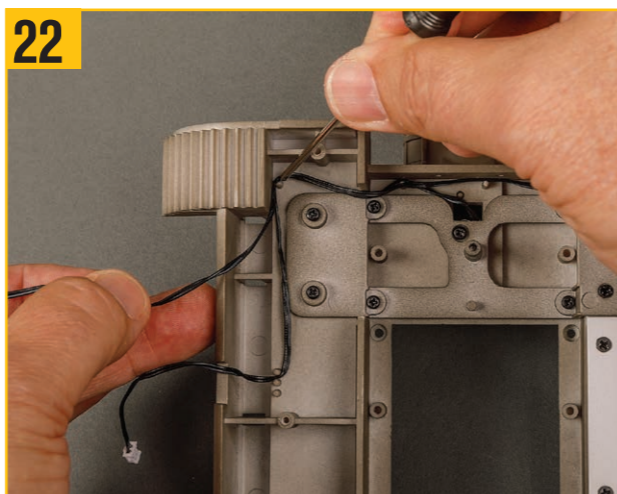
レーザーキャノンケーブルをほどく。



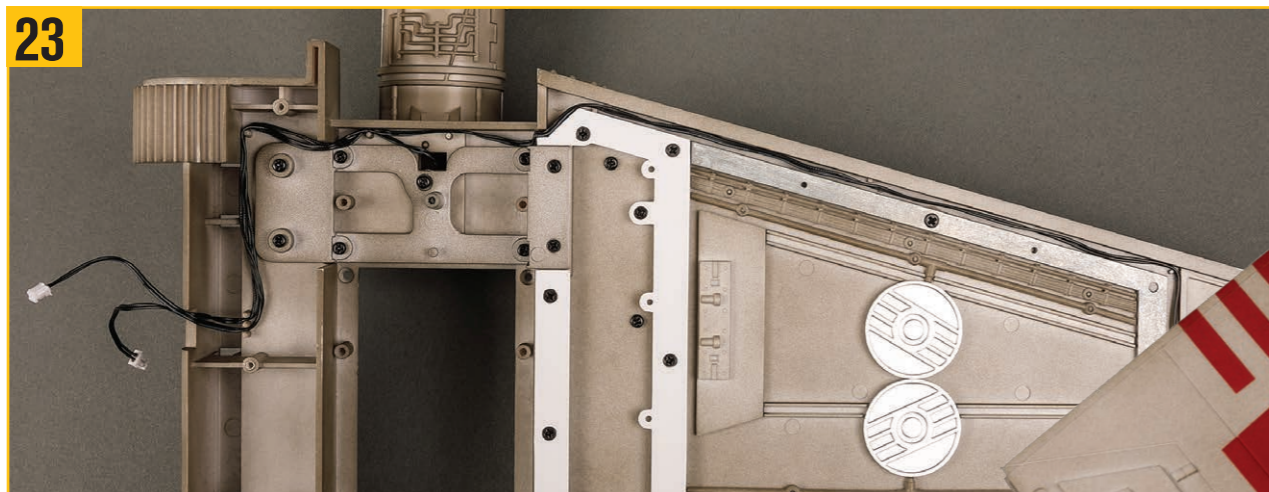
ソケットの端を確認し、ソケットをウィングチップ近くのくぼみにしっかりと取り付ける。



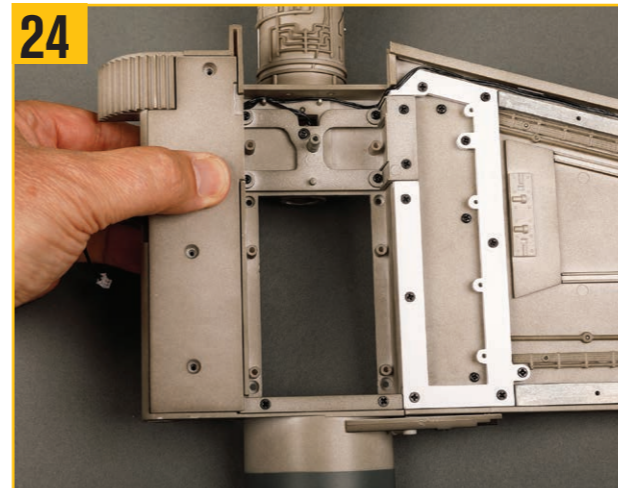
必要に応じてドライバーの先端を使用して、リード線を翼の外縁の周りに配線する。



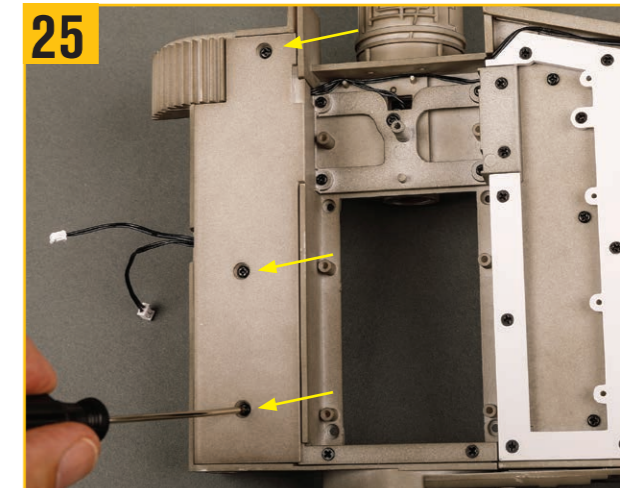
手順23に示されている経路に沿うようにする。



リード線はこのように配線する必要がある。最後のセクションはエンジンの配線と平行に合わせ、ステップ18の3つのポストのうちの2つの間の翼から出るようにする。



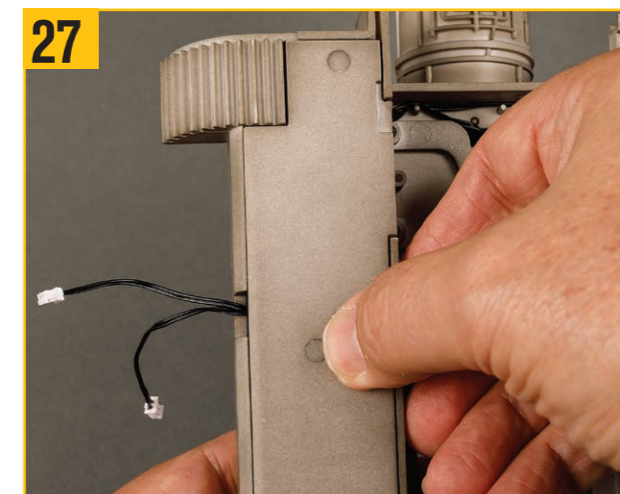
写真のようにウィングルートカバーを取り付ける。翼から出ている配線を挟まないように注意する。



3本のXW02ネジでウィングルートカバーを写真の位置に固定する。



スクリューからカバープラグを取り外し、ステップ25の3つの穴のそれぞれに1つずつ押し込み、ネジ頭を隠す。



本ステージの完成：完成後は翼は、上と下から見たとき、このように見える。

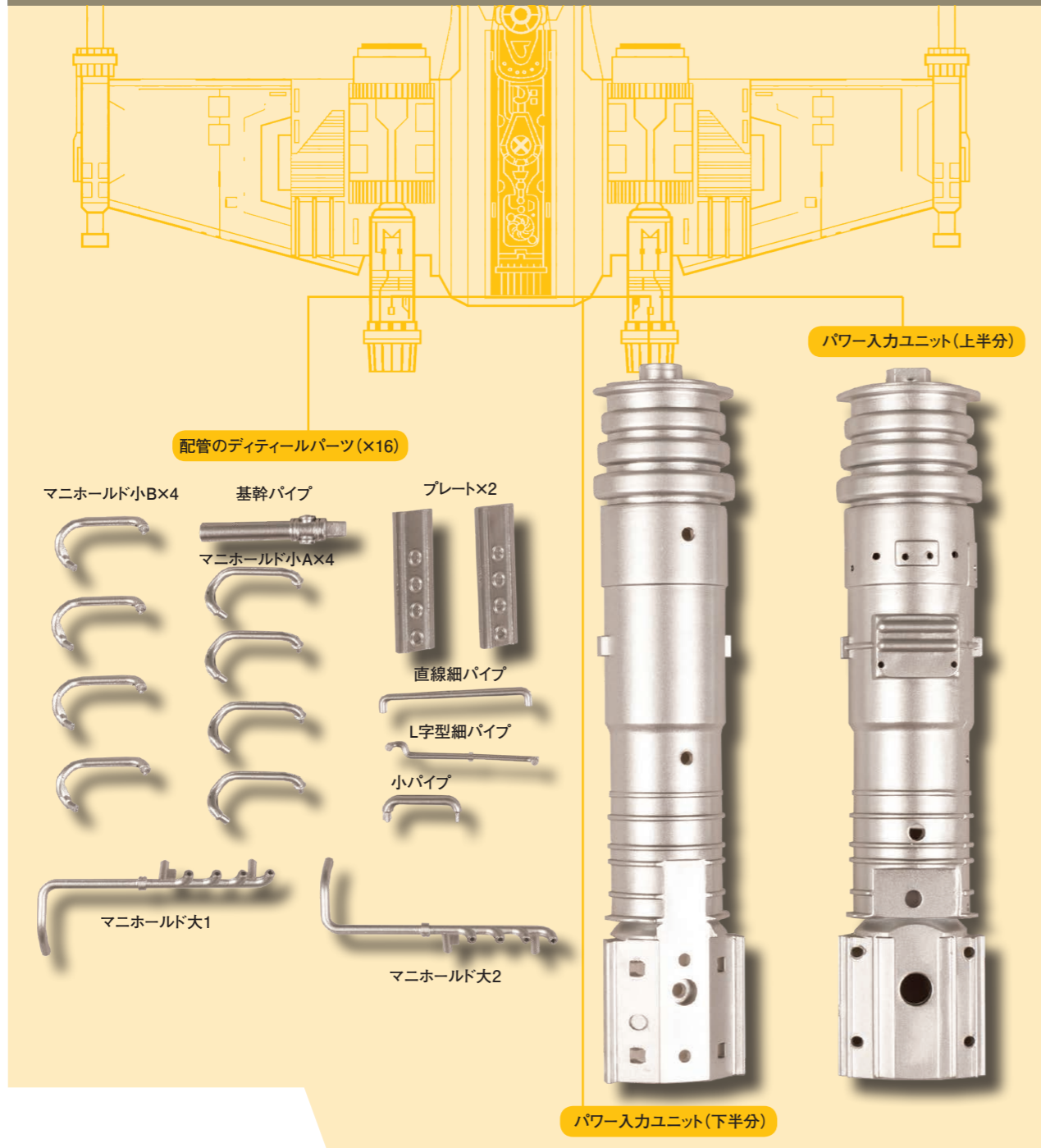


右舷上翼エンジン 5

このステージではフューリアルスラストエンジンの前方に取り付けられるパワー入力ユニットを組み立てる。

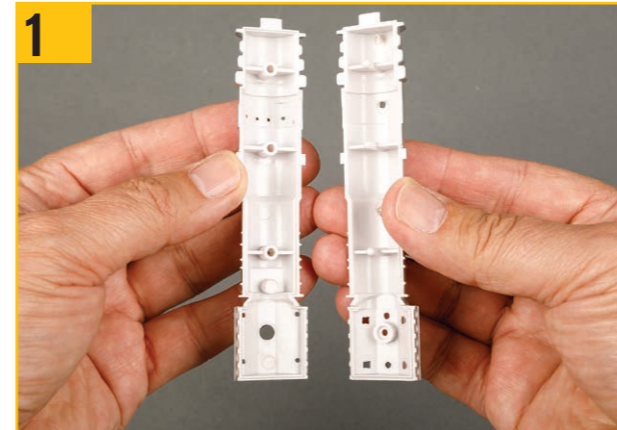
ステージ15の提供パーツ

部品が揃っているかを確認し、それぞれがXウィングのどの部分を構成するのか見てみよう。

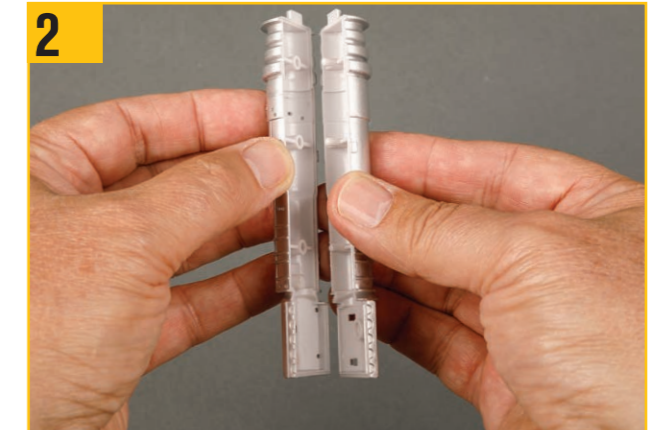


パイプワークの取り付け

円筒形のパワー入力ユニットの2つを結合し、すべての外部パイプを追加する。すべての部品は、所定の位置に押し込まれる。



1 パワー入力ユニットの2つのパーツを用意する。



2 下半分のピンを上半分の穴に合わせる。



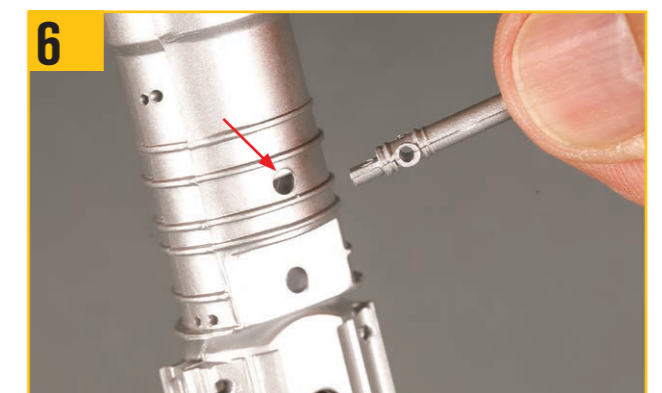
3 写真のように部品をしっかりと押し合わせる。



4 一番短い小パイプを用意し、両端のピンをパワー入力ユニットの上半分の2つの穴に合わせる。



5 部品をしっかりと写真の位置に押し込み、平らに収まるようにする。



6 太い基幹パイプを取り、端のD字型ラグをパワー入力ユニットの上半分の写真の穴に合わせる。



写真のようにパイプを奥まで押し込む。



互いに対になる2つのマニホールド大のうちマニホールド大1を用意する。



そして、ステップ7のパイプの穴に写真のように端を合わせる。



マニホールドのもう一方の端にある2つのピンを、パワー入力ユニットの上半分の穴に取り付ける。



もう一方のマニホールド大2もステップ8~10の手順と同様に取り付ける。



組み立て後は写真のようになる。



直線細パイプを写真のように持つ。



写真のように穴に押し込む。



L字型細パイプを写真のように持つ。



写真のように穴に押し込む。



写真のようにマニホールド小A4本と、プレート1つを用意する。



最初のマニホールド小Aをプレートのエンドホールに取り付ける。



写真のように曲線を描くようにする。



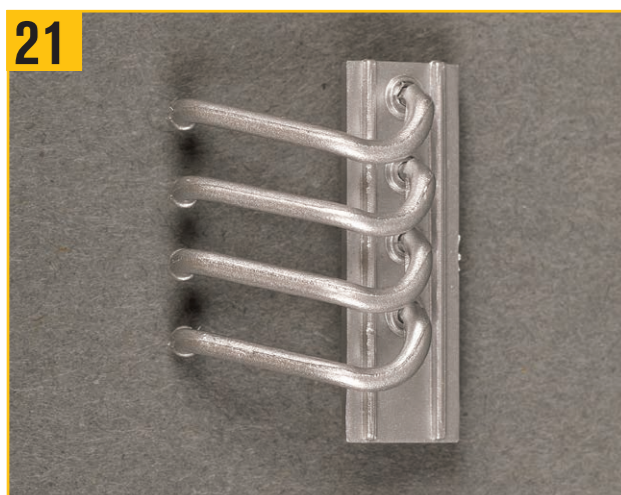
手順18と19を繰り返して、他の3本のパイプを取り付ける。



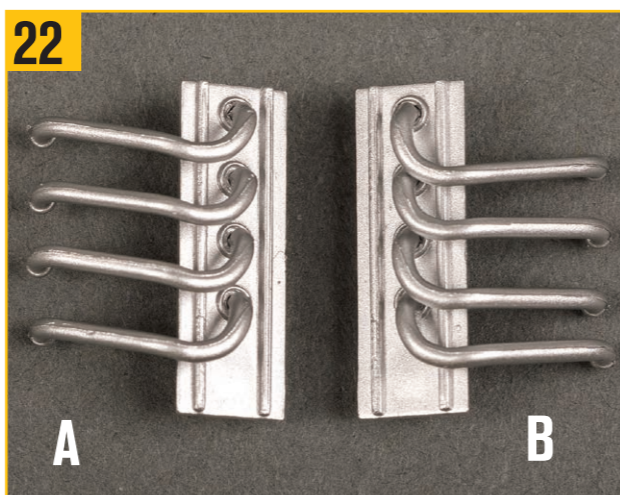
4つのパイプすべての端のピンを、マニホールド大の穴に合わせて取り付ける。



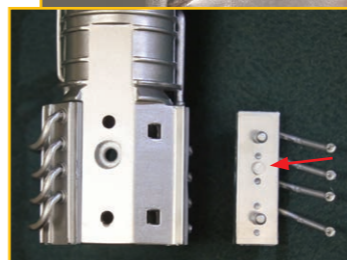
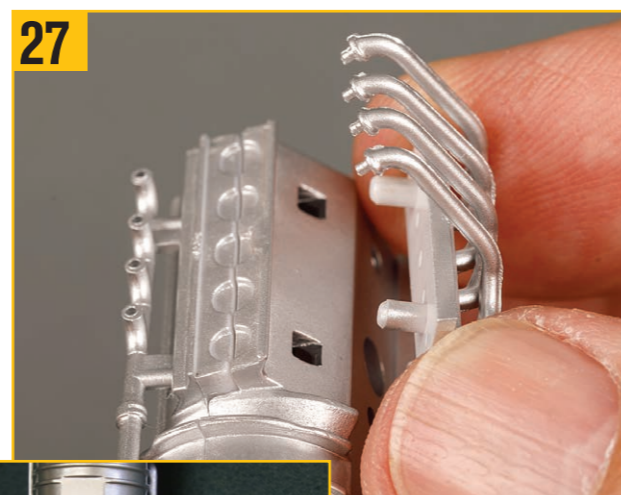
配管は写真のようになる。



組み立て後は写真のようになる。

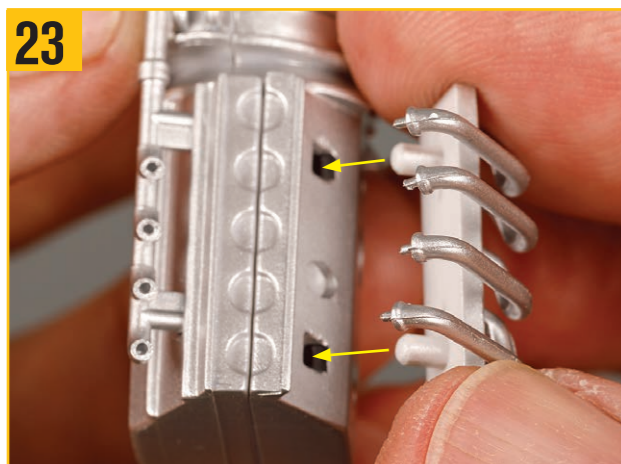


マニホールド小 B4 本と残りのプレートを用意し、組み立て、手順 21 で作成した (A) のパーツと対になる (B) を作成する。



手順23～26を繰り返して、部品Bをパワー入力ユニットの反対側に取り付ける。

※部品B(プレート)裏面中央側の低いボス凸を平ヤスリなどで平らに削り落としてください。



Aの背面にある2つの大きなピンを、パワー入力ユニットの下半分の四角い穴に合わせる。



ピンを写真の位置に押し込む。



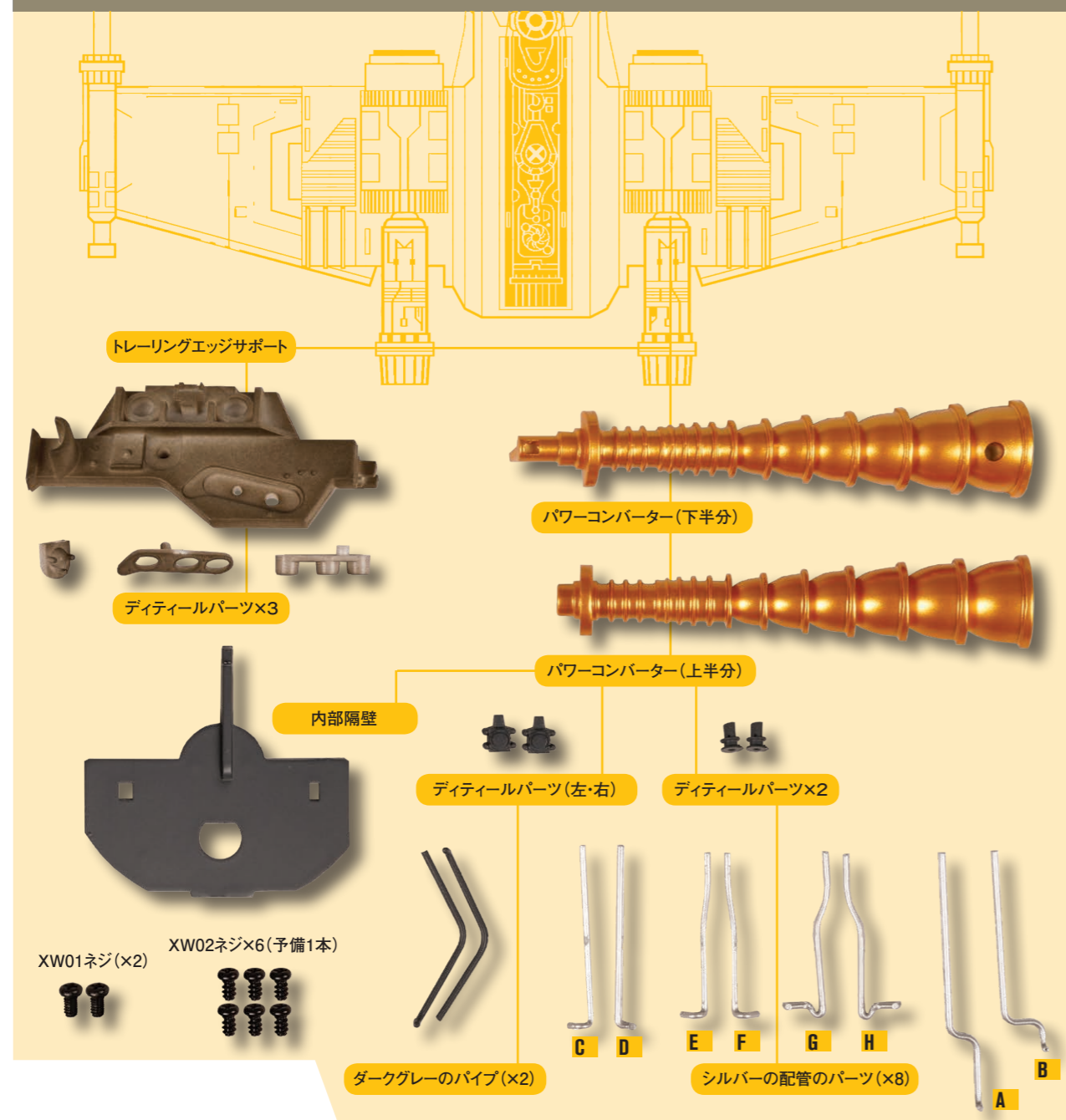
本ステージの完成：完了後は次の写真のようになる。

右舷上翼エンジン 6

このステージでは、これまで作成した部品にディテールパーツを追加すると共に、パワーコンバーターを組み立てる。さらに、エンジンの部品を合わせて、ライトボード S フォイルの上部にサブライトエンジン全体を取り付ける。

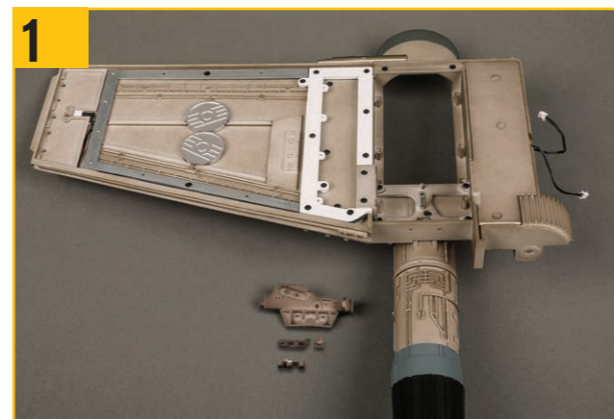
ステージ16の提供パーツ

部品が揃っているかを確認し、それぞれがXウイングのどの部分を構成するのか見てみよう。

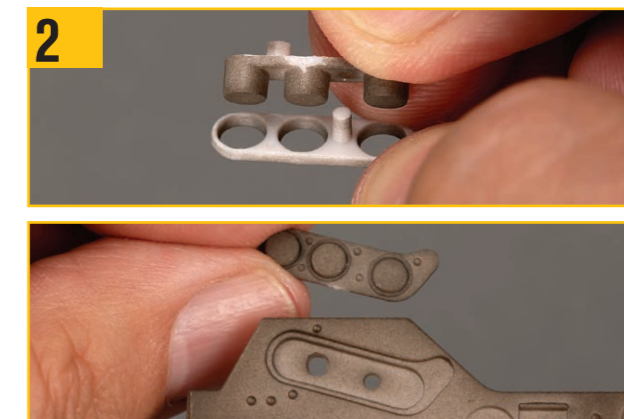


エンジンの組み立て

ディテールパーツは多くあるが、シンプルに押し込み式で固定できる。ステップの最後で、補助の部品をねじ止めてエンジンを完成させる。



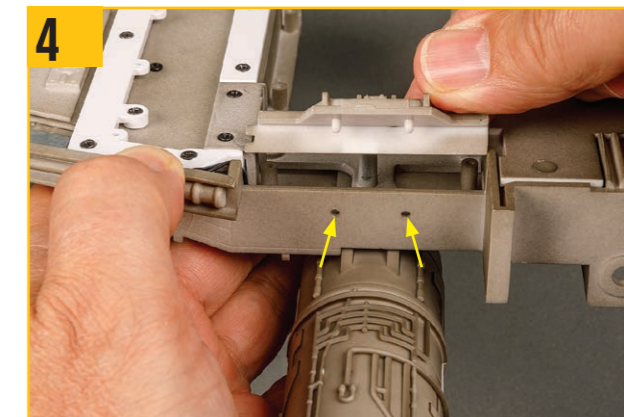
1 ステージ14の部品、トレーリングエッジサポートとその3つのディテールパーツを用意する。



2 写真の長い楕円形のディテールパーツの2つの部分を合わせて、背面の2つのピンを後縁サポートのくぼみに押し込む。



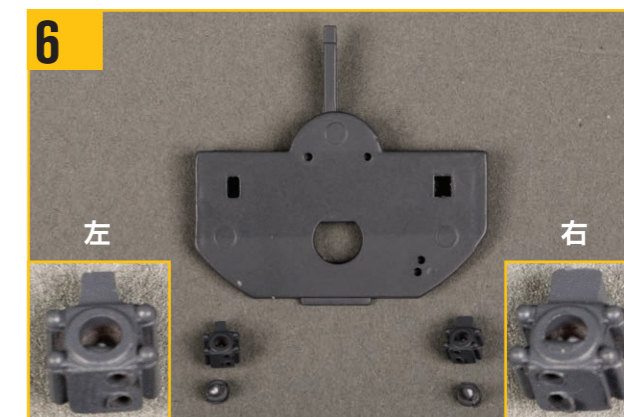
3 馬蹄形のディテールパーツのピンを、トレーリングエッジサポートの写真の穴に押し込む。



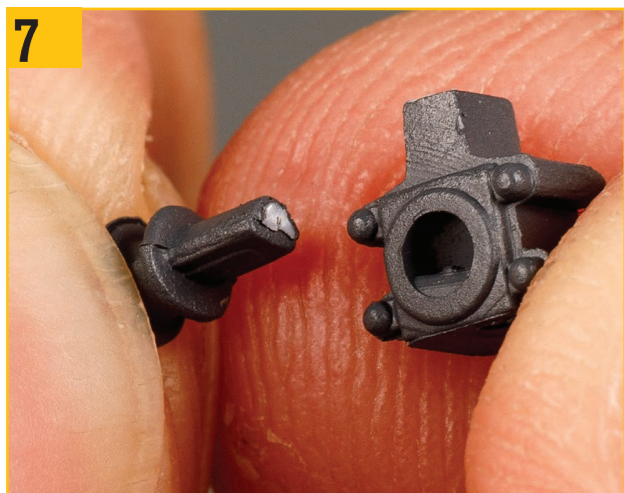
4 トレーリングエッジサポートの背面にある2つのピンをエンジンマウントの背面にある穴に合わせる。



5 写真のようにトレーリングエッジサポートをしっかり押し込む。



6 内部隔壁と残りの4つのディテールパーツを用意し、写真のように、穴の位置で左右を識別する。



7
小さなディテールパーツの1つのD字型のラグを、左のディテールパーツの対応する穴に合わせる。



8
そしてしっかりと押し込む。ステップ7と8を繰り返して右のディテールパーツも組み立てる。



9
写真のように左側のディテールパーツの長方形のラグを内部隔壁の左側にある穴に合わせ、しっかりと押し込む。



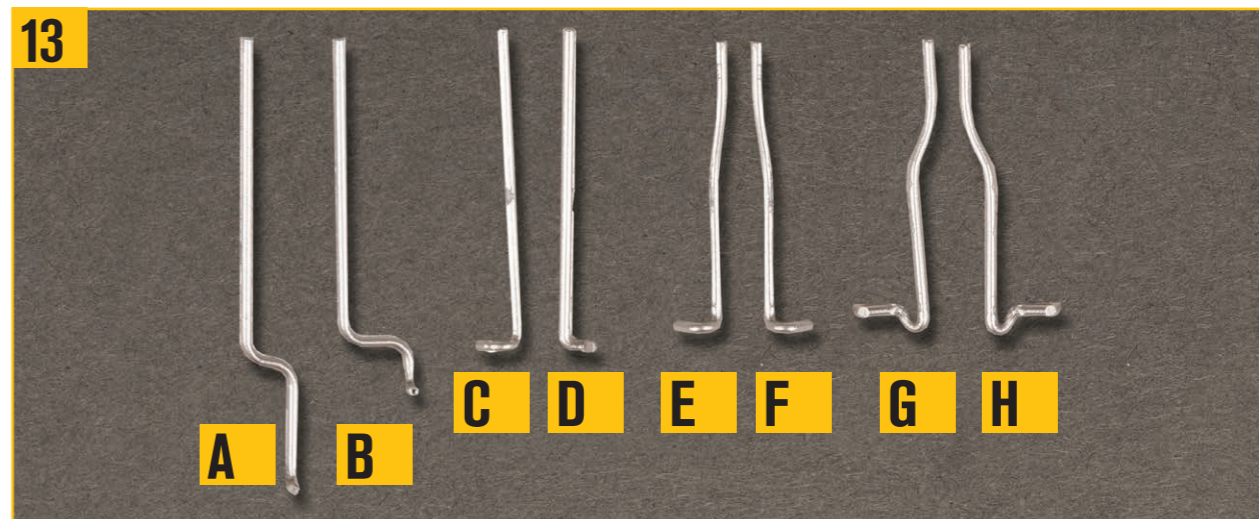
10
同様に右側のディテールパーツも取り付ける。



11
内部隔壁の大きなD字型の穴に、パワー入力ユニットの端にある対応するラグを合わせる。



12
写真のように部品をしっかりと押し込む。



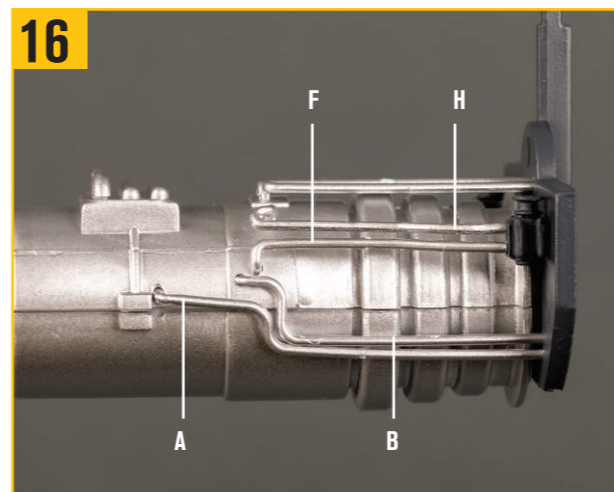
13
写真を見て8つの配管を識別する。



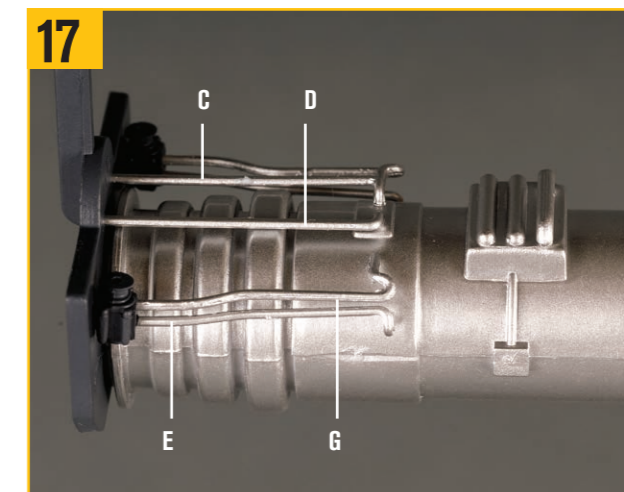
14
写真のように配管Aの端のピンをパワー入力ユニットの穴に取り付ける。



15
配管Aのもう一方の端を内部隔壁の写真の穴に取り付ける。ピンセットを使うと作業しやすい。

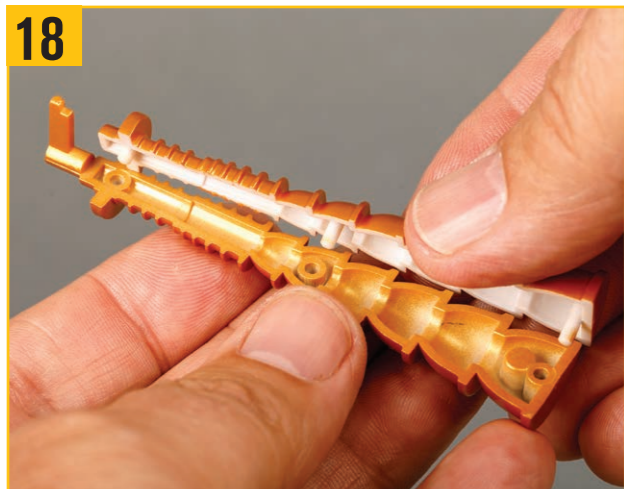


16
この写真を参考にして、同様の方法で配管B、F、およびHを取り付ける。

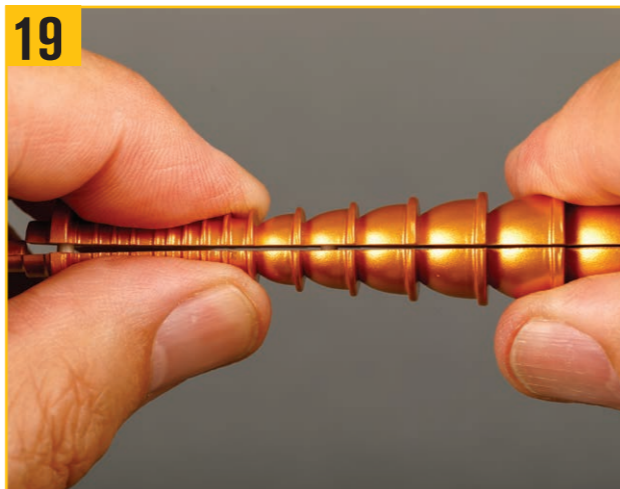


17
写真のようにパワー入力ユニットの反対側に配管C、D、E、Gを取り付ける。

※シルバー配管の取り付けは、P85の写真24,25,28を参照しながら、シルバー配管の形状と取り付け位置を確認して下さい。



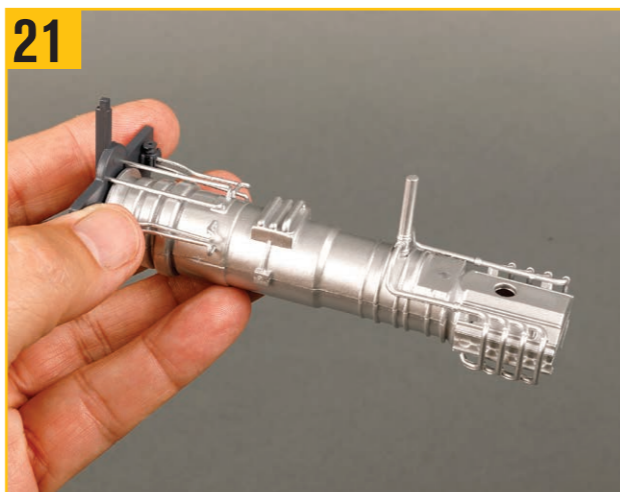
18
パワーコンバーターを用意し、上半分のラグを下半分の穴の位置を確認する。



19
2つのパーツを重ね合わせる。



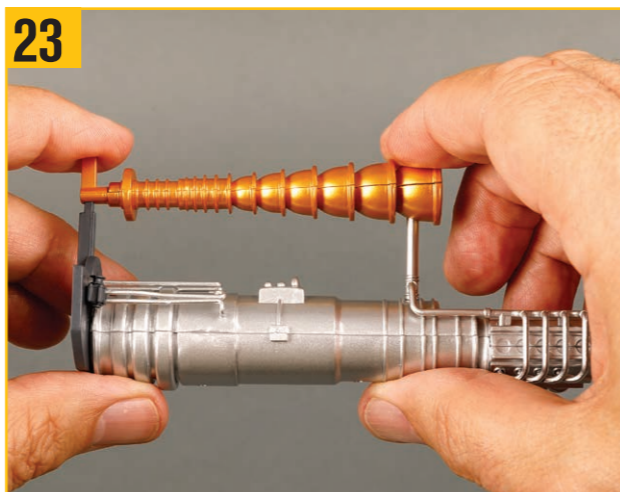
20
写真のようにぴったりフィットするように押し込む。



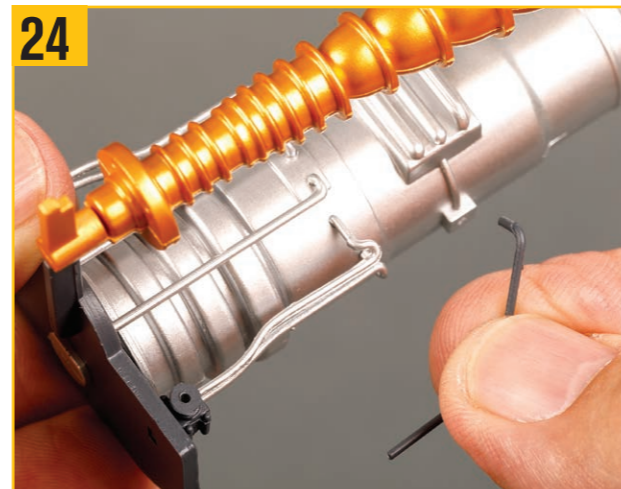
21
ステップ17で組み立てたパワー入力ユニットを用意する。



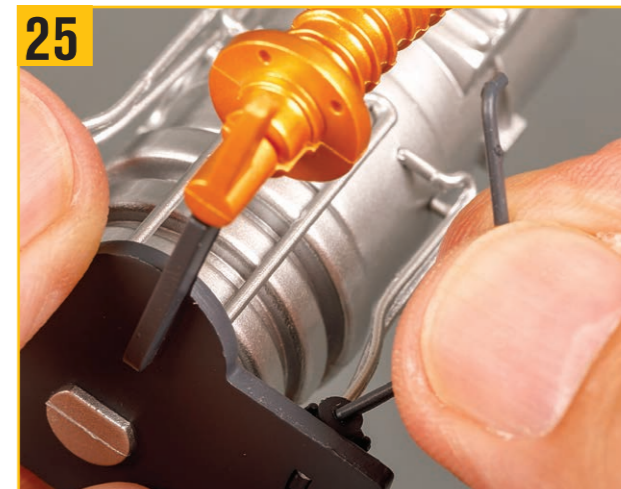
22
写真のようにパワーコンバーターの下部にある2つの穴を、パワー入力ユニットから突き出ているピンに合わせる。



23
パワーコンバーターをしっかりと押し込む。



24
写真のように傾斜する2本のダークグレーのパイプを1本用意する。



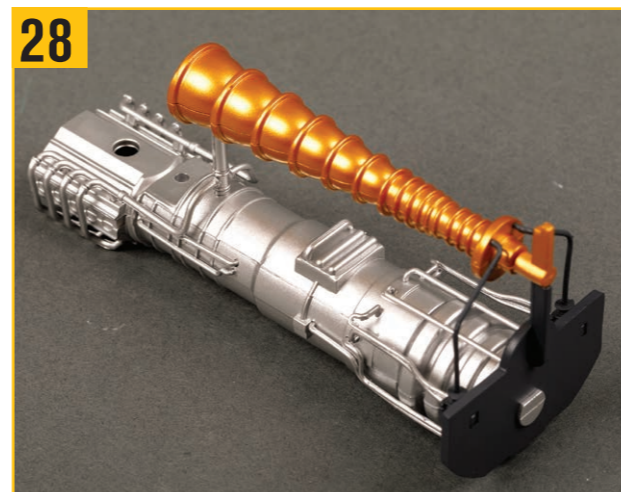
25
内部隔壁に取り付けたディテールパーツの穴にパイプの端を取り付ける。



26
そして、パワーコンバーターの端の写真の穴にもう一方の端を取り付ける。



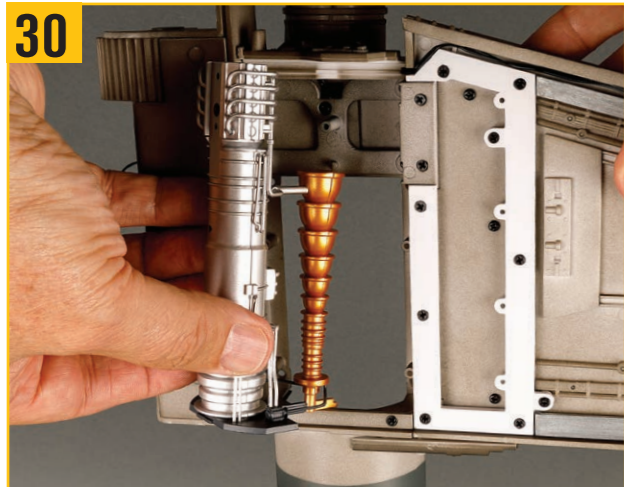
27
同様の方法で2番目のパイプを反対側に取り付ける。



28
組み立て後は写真のようになる。



29
ステージ10で作成した部品と5つのXW02ネジ、ステップ5と28で作成した部品を用意する。



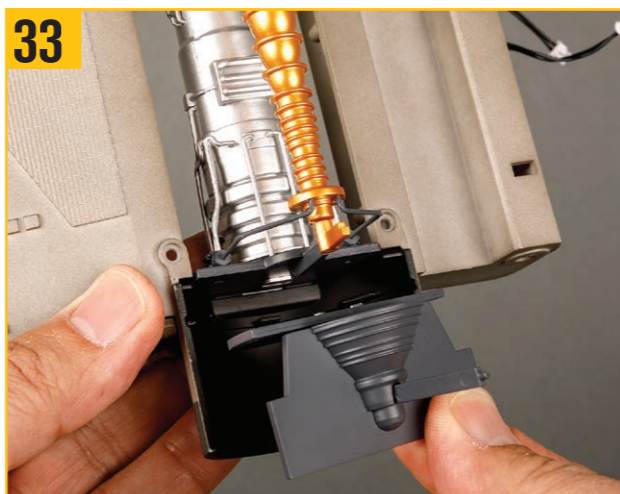
30 写真のようにエンジンマウントの大きな長方形の開口部にパワーコンバーター部品を取り付ける。



31 内部隔壁の底部にあるタブを青色の矢印の付いたスロットに合わせながら、黄色の矢印の付いたスロットに側面が収まるようにして翼ごと裏返す。



32 XW02ネジでパワー入力ユニットの端をエンジンマウントに固定する。



33 ステージ10で作成したジャイロコーンの部品を取り出し、写真のようにパワー入力ユニットの端に合わせる。



34 エンジンマウントの湾曲部分のスロットに半円形のシュラウドを押し込む。



35 上部エンジンケーシング(ステージ10で組み立てたもの)の4つのラグをエンジンマウントの穴に合わせる。



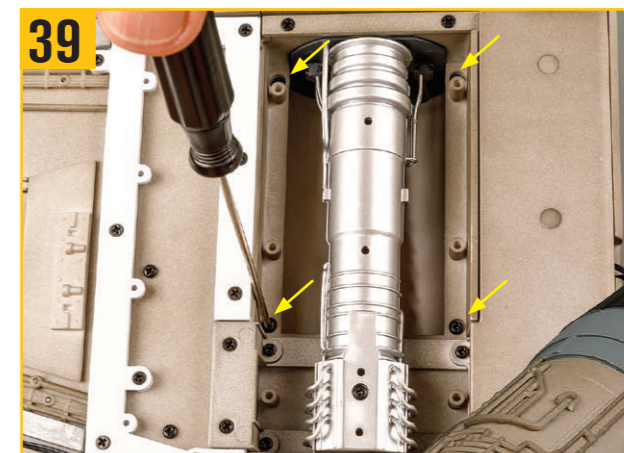
36 エンジンケーシングの背面の穴をフュージアルスラストエンジンの端に合わせて、部品を合わせる。



37 ケーシングの前面を平らにするために、冷却羽根の端にあるピンを写真の指定の穴に取り付ける必要がある。



38 部品をまとめて裏返し、手順35で特定した穴にXW02ネジを押し込む。



39 4箇所すべてをねじ止める。



本ステージの完成：組み立て後は、翼とエンジンの部品は写真のようになる。